

はじめての学年集会　14(金)6 校時　体育館にて

『月曜日の入学式から、はじめての中学校での連続５日間。
「ちょっとしんどいなあ，疲れているなあっていう人、手をあげて」と尋ねると、多くの手があがりました。環境が変わると誰もがそうなるものです。
　この掲示板のもと過ごした５日間、朝のスタートは良くできました。習慣づけたいものです。
上級生を見習って、次の目標は、
　①　あいさつ　②　集中力　③　歌
良い習慣を続け、何事も

８：２０までに→　教室の自分の席に座る
①　かばんは、後のロッカーに入れる
②　机の上には、今日提出するものと筆記用具
　　この状態で、静かに先生を待ちましょう。

【自分の頭で考える人】になっていきましょう。

＊あと２つありました。もうみんな、言えますね・・・

集会での先生方の話

Ⅰ：みんな、立派な【大人（おとな）】になってもらいたい。
①　毎日の生活のリズム・パターンを決めてください。
　・寝る時間がバラバラになると、体調がくずれます。早寝早起き、朝食は必ずとること。
②　友達を大切に，命を大切にしてください。
　・自分のことだけを考えない。何か悩みがあれば、いろいろな人に相談すること。
③　学校にはルールがあります。それぞれの場面でルールを守ってください。
　・時間を守り、学校生活に必要のない物は絶対持ってこないこと。[おかし][携帯電話]など

Ⅱ：これからの中学３年間、体も学力も大きく伸びます。
①　学校での授業を大切にしてください。
　・授業は、『朝食，昼食，夕食』のようなもの，自分がしっかりと準備すること。
　　忘れ物をしないこと。提出物（ノートやワーク）は期限を守ること。
②　家で机に向かう習慣をつけてください。
　・自分で勉強を始める時間と寝る時間を決めること。遅くなりすぎてはいけません。

Ⅲ：保健室に行く時は、…
①　必ず、先生（担任の先生または教科の先生）に申し出てから行ってください。
　・だまって行くと、どうして，どこへ行ったのかわからなくなります。
②　保健室では、その症状を自分ではっきりと言ってください。

朝の読書タイム　読書の魅力って…？　歌人の穂村弘（ほむらひろし）さんは次のように言っています

あなたの「世界」を変えるかも
そもそも読書とは？　そして言葉とは？

『読書は楽器やスポーツと同じように趣味の範囲であり、読んでも読まなくても構わないのではないか』と改めて問われると、『賛成です』と答えることに不安と躊躇いを覚えます。
　それはどうしてなのか、考えてみました。一つ思い当たったのは、読書という行為は言葉と密接に関わっている、ということです。言葉は、他者とのコミュニケーションに必要というだけではなくて、誰にも会わず一言も話さない日でも、私たちは心の中で無意識に言葉を使っています。それなくして生きることはできない、と思えるほどに。
　私がイメージしたのは、蜘蛛と糸と巣の関係です。蜘蛛が自分の糸だけで編んだ巣の上で生きるように、我々も普段は意識しないけど、自らの内なる言葉（糸）が作り出した世界像（巣）の上で生きているんじゃないか。つまり、人間は言葉の介在なしに世界そのものをじかに生きることはできないんじゃないか、と。
　読書という行為だけが内なる言葉を養うわけではない。でも、本が言葉の、すなわち他者の世界像のかたまりであることもまた確かです。私が読書に特別な意味を見出したくなるのはそのためではないか、と考えました。

【四月十六日　朝日新聞より】

＊介在…二つのものの間にはさまってあること。
　両者の間に存在すること。



・保護者の皆様へ・　家庭訪問　24(月)～





今月 24 日（月）から４日間の日程で、学級担任がお家によせていただきます。後日、担任より日時を連絡しますので、よろしくお願いいたします。
　この４日間は、午前中４時間授業です。
　放課後に、・部活動（まだ仮入部期間です）に参加する，
　　・学級旗を製作する
　　場合は弁当を持たせてください。

２４日（月）	大観校区中心	13：30 頃から 16：30 頃
２５日（火）	王子校区中心	
２６日（水）	林　校区中心	
２７日（木）	予備	